



地域の課題をとらえて

2氏が一般質問



高橋 秀明

- ・小中学校児童生徒通学路交差点への防犯カメラ設置について
- ・企業誘致条例制定について
- ・北海道ワイン教育研究拠点構想について

小中学校児童生徒通学路交差点への防犯カメラ設置について

質問 駅前では、防犯カメラを設置しており、交通事故などの際に確認できる。

更に天塩警察署は他町の防犯カメラ設置の取り組みを話し、本町でも通学の安全の為、設置を働きかけてほしいと何度も言っていたが。

教育長 関係機関と連携し、啓発活動や各種事業を行い、街路灯の整備、防犯灯の増設、LED照明の切替えによる照度の確保など、防犯対策にも取り組んでいる。現時点では、通学路の防犯カメラ設置予定はないが、町部局と相談の上、進めていきたい。

企業誘致条例制定について

質問 今後、本町において企業誘致条例を制定しないのか。企業誘致には、土地が必要となるが、土地の問題や担当部署の新設を含め、答弁してほしい。

町長 町内特定事業者における事業用土地、建物や設備の新設などに対し、固定資産税を3カ年度分免除する特定事業用設備新設等地域活性化に関する条例を定めている。中小企業などが、労働生産性の向上を目的とした設備の取得などに対し、固定資産税額を0にできる先端設備導入計画は、国の認定を受けている。これらの制度は、新規参入への支援に対応しており、税負担の軽減に係る支援体制についても備えている。

北海道ワイン教育研究拠点構想について

質問 4月から北大、国内外の研究者、道職員やワインナーが携わり、授業や実地研究が行われる。本町にとって、魅力ある取り組みだと思うが、職員をこの力



齋賀 弘孝

- ・幌延町移住、定住促進各種事業について
- ・町政執行方針英語教育について

幌延町移住、定住促進各種事業について

質問 この制度を利用して他地域から幌延町に住居を移した方はいるのか。

企画政策課長 ほとんどは町内在住者の利用だったが、町外からの住居者は数件あった。

質問 この補助制度利用で何名かの方が定住に結び付いたので、効果のある事業だと思う。

地域コミュニティ形成事業の内容に則り、空き店舗

リキユラムに入れないのか。
町長 北大天塩研究林と包括連携協定のもと、果樹栽培に精通した研究林職員から随時指導を受けている。現時点で当該講座に職員を受講させる状況や段階ではない。

を利用し、地域、グループ団体等の申請も受け付けるのか。

町長 幌延町に住所を有し、そこに住むことが基本となっている。個々の審査で持ち家になっていれば利用できる。

質問 町政執行方針の主要施策の移住定住促進に、「よい意味で若者・ばか者・よそ者が必要」と言われている。問寒別では都会から若者団体が活躍の場を作ろうとしている。この補助制度を利用できないか。